

多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

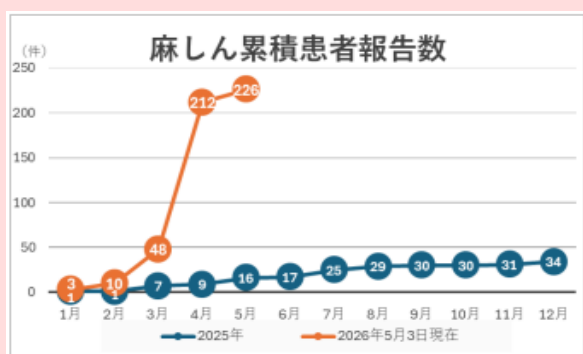
○連休による医療機関の休診等の影響で、今週の麻疹の報告数は前週より減少しているように見えますが、今後も引き続き注意が必要です。

○都内の麻疹に関する情報は東京都感染症情報センターのホームページにも掲載されています。こちらをクリックすると該当ページをご覧くださいませ。⇒

東京都感染症情報センター
Tokyo Metropolitan Infectious Disease Surveillance Center

保健所からのお知らせ

東京都での麻疹(はしか)発生状況



5月3日時点で、計226件と過去10年で最大の報告数となっています。30代までの若年層の患者の割合が高く、学校での集団発生も報告されています。

2026年5月11日発行 東京都健康安全研究センター
感染症ひとくち情報より

予防・対応のポイント



①ワクチン接種歴の確認

麻疹はワクチンで予防可能な感染症です。

特に、2回接種したことが確認できない方、医療・福祉に従事する方、外国から来日した方と接する機会の多い方は、ワクチン接種歴を確認し、必要時には追加接種をご検討ください。

②麻疹が疑われる場合の対応

発熱などの風邪のような症状や、発疹、コプリック斑（口の中の白い斑点）がみられた場合には、麻疹の可能性を考え、医療機関へ事前に電話で相談をした上で受診しましょう。



発症した人が周囲に感染させる期間は、**発症の1日前から、解熱後3日間を経過するまでの期間**です。
なお、感染力が最も強いのは発しん出現前の期間です。
最も有効な予防法はMRワクチンの2回接種です。
この機会に、ワクチン接種歴を確認してみましょう。